

# Crustacea

新星図鑑シリーズ

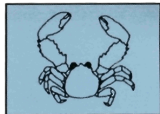
# 沖縄海中生物図鑑

監修 財団法人海中公園センター

## 甲殻類(エビ・ヤドカリ)

亀崎直樹・野村恵一  
浜野龍夫・御前 洋  
(五十音順)

新星図書出版



カニダマシ型



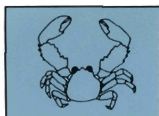
色ちがい

## ヘンゲコシオリエビ [コシオリエビ科]

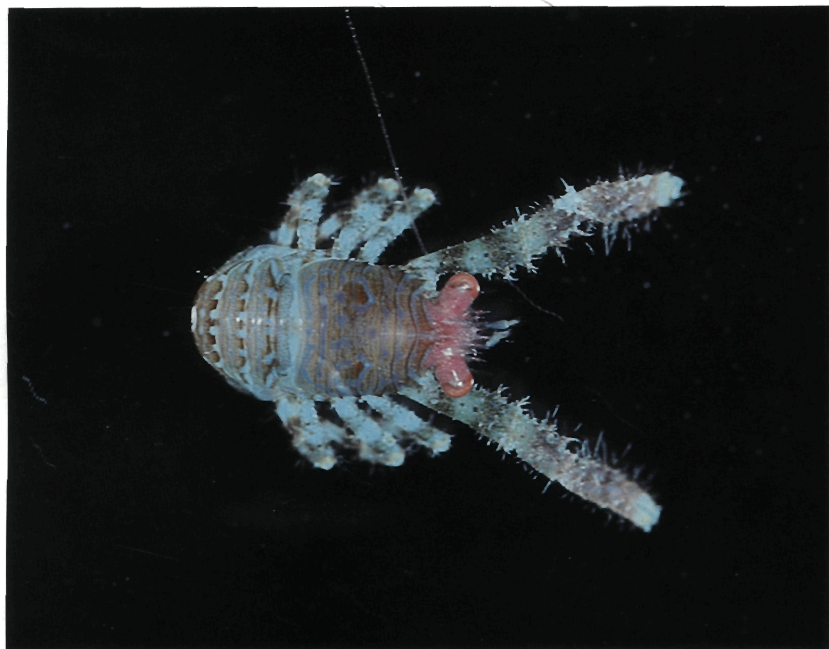
### *Galathea aegyptica* Paulson

甲長 10mm 生息場所 浅海サンゴ礁域の死んだサンゴのすき間

**特徴** 体色に変異が多いのでヘンゲコシオリエビの名前がついています。最も一般的な体色は、胸脚に明褐色と暗褐色の横帯があり、甲背面の中央の明色帯をはさんでその両側が赤色をしています。甲の背面には顕著な横溝があり、各横溝の上縁には列生する細毛とまばらな赤色の剛毛とがあります。額角の側縁に4対の大歯があり、額角の背面には密生する長毛があります。甲の側縁には6対の棘があります。



カニダマシ型

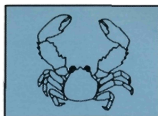


## アマミコシオリエビ(新称) [コシオリエビ科]

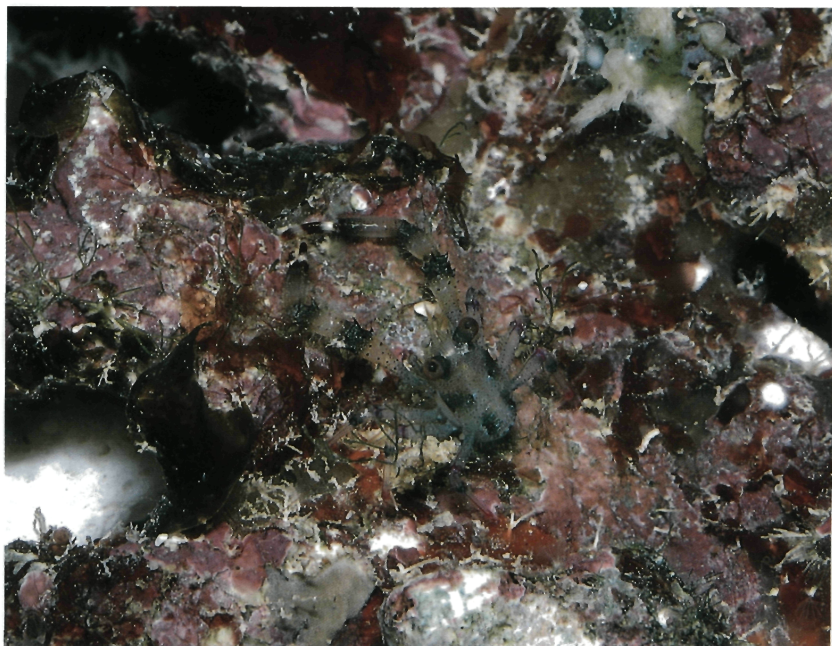
*Galathea amamiensis* Miyake et Baba

甲長 6.5mm 生息場所 浅海サンゴ礁域の死んだサンゴのすき間

**特徴** 体の地は褐色で細かな横縞模様があり、甲背面中央に1対の大きな斑紋があります。額角及び眼は鮮やかな赤色で、胸脚には不明瞭な横帯模様があります。額角側縁に4対の大歯<sup>がつかく</sup>があり、額角背面には長毛はなく、甲側縁には7対の棘があります。甲背面の横縞は溝になり、この溝は多くが途切れることなく甲の両側縁を結び、溝の上縁には細毛が列生しています。



カニダマシ型

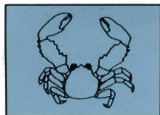


## フタホシコシオリエビ [コシオリエビ科]

*Galathea bimaculata* Miyake et Baba

甲長 4.5mm 生息場所 浅海サンゴ礁域の死んだサンゴのすき間

特徴 体の地は淡褐色で、甲背面中央によく目立つ1対の大きな黒色の円紋があり、眼の付け根と腹部にも黒色の斑紋が1対ずつあります。胸脚には明褐色と黒色の横帯があります。額角側縁に4対の大歯<sup>がつかく</sup>があり、額角背面には長毛はなく、甲側縁に5～6対の棘があります。甲背面の横溝は不明瞭です。



カニダマシ型

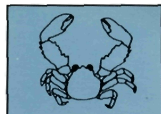


## アデコシオリエビ(新称) [コシオリエビ科]

*Galathea pilosa* De Man

甲長 6 mm 生息場所 浅海サンゴ礁域の死んだサンゴのすき間

**特徴** 体の背面は赤色で甲の中央には幅の広い白色の横帯があり、胸脚には白色の地に黒色の幅の広い横帯があります。額角の側縁に4対の大きな歯があり、甲の側縁には7対の棘があります。甲背面に明瞭な横溝を持ち、溝の多くは途切れることなく甲の両側を走り、各溝には赤色のまばらな剛毛と列生する細毛とがあります。ハサミ脚と額角の背面には長毛が密生しています。



カニダマシ型

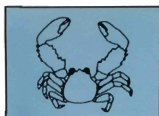


## ヒヅメコシオリエビ [コシオリエビ科]

*Lauriea gardineri* (Laurie)

**甲長** 5 mm **生息場所** 浅海サンゴ礁域の死んだサンゴのすき間

**特徴** 体の地は淡褐色で、甲背面や胸脚に黄色の斑紋があります。甲背面の横溝は不明瞭で各溝からまばらな細毛が生えています。また、体全体に毛足の長い剛毛が生え、歩脚の指節の先端はヒヅメ状をしています。



カニダマシ型



ミヤケコシオリエビ(新称) [コシオリエビ科]

*Sadayoshia miyakei* Baba

甲長 7 mm 生息場所 浅海サンゴ礁域の死んだサンゴのすき間

特徴 甲背面には明褐色と暗褐色の不明瞭な横帯があり、胸脚にも同様の横帯があります。額角の側縁に大小2対の大歯<sup>がつかく</sup>があり、額角の背面には長毛はなく、甲側縁に7対の棘があります。甲背面には顕著な横溝がありますが、ほとんどが甲の両側縁を結ぶことなく途切れます。また、甲背面には側縁寄りの所に6対の棘があります。